

土浦ケーブルテレビ株式会社

2022 年度放送番組審議会 議事録

<放送番組審議会委員>

池田	正	様	坂本	榮	様
田所	榮	様	塚本	裕	様
中川	光美	様			(50音順)

2022年度の放送番組審議会は、前年度同様に新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、放送番組審議委員と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議委員に対して書面をもって現況報告及びJ：COMチャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、放送番組審議委員より書面にてJ：COMチャンネルに対して、意見、要望があった。

1、コミュニティチャンネル（11CH）について

■質問 J：COMチャンネル編成について

・良い：4名、やや良い：1名、普通：0名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「WEEKLY トピックス」について

・良い：3名、やや良い：1名、普通：1名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 土浦市広報番組「マイシティつちうら」について

・良い：3名、やや良い：1名、普通：0名、やや悪い：0名、悪い：0名
未回答：1名

■質問 「市長定例記者会見ニュース」について

・良い：4名、やや良い：0名、普通：1名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「全国高等学校野球選手権茨城大会（夏の大会）」について

・良い：4名、やや良い：1名、普通：0名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「秋季茨城県大会及び関東大会」について

・良い：3名、やや良い：1名、普通：1名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「特番・土浦全国花火競技大会 生中継」について

・ 良い：4名、やや良い：1名、普通：1名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「エリア内首長 新春年頭挨拶」について

・ 良い：4名、やや良い：0名、普通：1名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「茨城県立高校入試解答速報」について

・ 良い：3名、やや良い：0名、普通：2名、やや悪い：0名、悪い：0名

■質問 「ジェイコム旗争奪土浦市少年野球新人大会」録画放送について

・ 良い：4名、やや良い：1名、普通：0名、やや悪い：0名、悪い：0名

2、各番組に対するご質問、ご意見について

①「WEEKLY トピックス」について

(委員)

・ 地域のニュースと話題がメインとなるだけに、視聴者にとって身近な話である。それだけに内容もさることながら、好感度がポイントになると思う。

(委員)

・ 各地域の季節ごとのイベントが見ることもでき、旬な話題に触れることができるのがこの番組の良いところだと思う。

(事業者)

・ 番組をご覧になる方々にとって「伝えるニュースの意味」を分かりやすく表現し、「納得感」や「安心感」、「信頼感」が伝わるよう制作して参ります。またタイムリーな話題という「地域の旬」という切り口も欠かさないように心がけてゆきます。

(委員)

・ ウィークリーではなく、デイリーにすべきでは？ニュース量が少ないと思う。

(事業者)

・ デイリーニュースにするためには、人的なりソースや予算など、全般的な見直しが必要となりますが、現状、そこまでコストがかけられない事情もあります。今後の課題としてどのようにすべきか、代案も含め検討いたします。

②「マイシティつちうら」について

(委員)

・ 広報紙の発行に合わせて制作され、市民に寄り添う情報番組でもあるので、やはり分かり易く伝える事が大事になってくる。特に高齢者のことは意識を

してもらえるとありがたい。

(事業者)

- ・土浦市の広報番組であるため、引き続き正確で分かり易く、タイムリーな情報提供を継続してまいります。

(委員)

- ・市民目線で分かり易くてよい。また市民が知りたいものは何か？ということについてアンケートなどを取って番組作りに反させられれば良いと思う。

(事業者)

- ・この点は土浦市とも連携を取って、どのような内容が市民にとって有益なのかを探りながら制作して参ります。
- ・なお、本審議会の委員でいらっしゃる中川光美様は、土浦市の広報広聴課長であり、以下のコメントを頂戴しております。

(以下、中川委員より)

- ・各イベントに取材に来ていただき、ありがとうございます。
今後もたくさんの市民の皆さんが楽しみに見ていただけるよう、情報の提供をさせていただきます。

③「市長定例記者会見ニュース」について

(委員)

- ・この番組はこれまで同様継続してほしい。

(委員)

- ・市長の定例記者会見は、パブリシティの一環として、コストをかけずにより多くの市民に情報を伝える事になるので、大変有意義でありありがたい番組である。

(事業者)

- ・市長記者会見は、市民の方たちにとって、「わが町の動向や近況、新しい行政の取り組み」を知る良い機会であると考えております。引き続き、会見で発表される内容を正確にお伝えできるよう努力して参ります。

④「全国高等学校野球選手権茨城大会」について

(委員)

- ・土浦と水戸の試合が見られて、高校野球ファンには最高の番組である。

(委員)

- ・土浦での開催試合がすべて生中継されることは選手たちのモチベーションア

ップにもつながると思う。これからも（土浦の）全試合生中継を続けてもらいたい。

（事業者）

- ・茨城県の高校野球人気は高く、かつ、放送を行っているメディアはケーブルテレビが中心であることから、もはや不可欠なコンテンツであると言えます。県高野連とも良好な関係を維持しつつ、中継の質の向上ができるよう、高校野球に関する様々な情報なども織り交ぜながら、視聴者の期待に応える番組制作を進めて参ります。
- ・なお、本審議会の委員でいらっしゃる田所栄様には、弊社の高校野球中継の解説をお願いしており、以下のコメントを頂戴しております。

（以下、田所委員より）

- ・「解説者として視聴者の皆さまにベストを尽くし、野球の難しさ、奥深さ、面白さをお伝えできるよう心掛けております。選手もプレー中は、予測→チェック→実行→修正→実行と素早いサイクルで行動していますので、解説する我々も同様の対応で中継をお伝えしたいと考えます。」

⑤「秋季茨城県大会及び関東大会」について

（委員）

- ・関東大会はケーブルテレビでしか見られないので、今後も続けてほしい。

（委員）

- ・夏の選手権大会同様、J:COM スタジアムの試合はすべて中継してほしい。

（委員）

- ・秋季大会はセンバツ高校野球の選考対象大会でもあるので、関東大会まで継続して放送してほしい。

（事業者）

- ・茨城県秋季大会はケーブルテレビならでのコンテンツであり、引き続きも生中継する方向で種々準備を進めてまいります。一方、関東大会につきましては視聴動向が県大会より下回る傾向があり、現時点に置きましては、要検討課題となっております。引き続き、どのように扱うかを社内でも検討してまいります。

⑥「特番・土浦全国花火競技大会 生中継」について

(委員)

- ・全体的に良いと思う。欲を言えば、カメラ台数を増やし、別アングルからの映像もあると、もっと良い感じになる。ドローンの映像も迫力あるものになるのでもっと活用すると良い。

(委員)

- ・映像もきれいだったし、県内のイベントとしても大きい部類になるので、継続して放送することは大事。

(委員)

- ・会場へ来られない方へ花火の素晴らしさが伝わるよう、これからもよろしく願います。

(事業者)

- ・3年ぶりに土浦全国花火競技大会が実施され、放送する私たちとしましても、視聴者の皆様からの期待を感じ、気持ち新たに制作に取り組みました。映像技術もドローンを活用し、アングルには十分留意しましたが、ある程度限られたポジションからの中継であったことは否めません。とはいえ、今年度の弊社制作の特別番組では、最も視聴者から好評いただいた放送となりました。来季に向け、コストや安全性なども十分に考慮しながら、より迫力のある花火中継にしてゆく所存です。

⑦「エリア内首長 新春年頭挨拶」について

(委員)

- ・各自治体の首長の皆さんの新春年頭挨拶は、それぞれの市町村で配布される広報誌にも要約が掲載されていると思われませんが、生の声を聞けることは、視聴者にとっても、話の理解度が高まることになるかと思えます。

(事業者)

- ・当社の放送エリア内の市町村長の皆様の年頭挨拶は、首長と住民のひとつの接点となると同時に、その年の各市町村の特色ある取り組みをお伝えするになれば、という思いでJ:COM全体の取り組みとして行っており、引き続き放送してゆきたいと考えております。

また、昨年・今年と「市長定例記者会見ニュース 特別編」という冠を付けて放送しましたが、一部の視聴者の方に、「登場するのは市長だけか？」との誤解を与えてしまいました。あくまで放送エリア内の市町村すべてが対象ですので、来年以降の放送は番組タイトルを分かりやすいものに変更する予定です。

⑧「茨城県立高校入試解答速報」について

(委員)

・受験生やその親にとって、要求度の高いタイムリーな企画だと思う。

(事業者)

・高校入試解答速報につきましては、例年同様、茨城県 CATV 連絡協議会加盟社にも配信し、今年は加盟社でまだ放送実績のなかった「研究学園都市コミュニティケーブルサービス (ACCS)」にも配信を行ない、茨城県の CATV 全社で生放送を行いました。今年は、解説の講師役も土浦市内の大学進学塾に依頼し、リニューアルをしました。解説講師役の先生方も非常に分かり易く、正確な内容でご説明いただき、リニューアルとしては良かったと評価しております。

引き続き、受験生にとって役立つ番組作りを目指して取り組んで参ります。

⑨「ジェイコム旗争奪土浦市少年野球新人大会」録画放送について

(委員)

・30分に編集された番組ではなく、生放送にすれば子ども達が野球にもっと打ち込めると思う。またスタジアムに来られない保護者もいると思うので、プレーする生の子や孫の姿が見られるとよいのではないか？

(委員)

・実際にプレーする選手は、映像に映ることが多いが、1・3塁のベースコーチに立つ子どもたちもぜひ紹介してほしい。試合に出られなくても大事な役割があることを子どもたちにも理解させる一助になると思います。

(事業者)

生放送というご意見は、可能性の一つとしてあると思います。

一方で視聴の対象となりうる方々が、本人・家族・親族が中心であることを考えますと、ある程度編集して見やすい長さにして後日放送し、お子様方の成長記録としてご家族で楽しんでいただくという意味合いも込めて、このような番組形態としています。

また、画面に移す選手は、プレーヤーのみならず、コーチや控えの選手たちにもスポットを当てるよう、今後工夫してまいります。

3、その他のご意見等について

(委員)

・茨城県の健康プラザの太田仁史先生の考案した「シルバーリハビリ体操」を映像化し、朝・昼・晩の各番組の合間に編成することを提案したい。

この体操は、健康な高齢者はもちろん病弱な高齢者が心身共に健康に過ごせるようにと考案されたもので、どんな体勢や時間、場所を選ばず気軽にできる。

高齢者の健康増進の一環として、土浦ケーブルテレビの「目玉」番組のひとつにしてはどうか？

（事業者）

- ・ 当社コミュニティチャンネルの視聴層は、シニア層が多いことは十分把握しており、今回のご意見も編成担当と協議しながらその可能性を探ってまいります。

（委員）

- ・ 各地の物産品を PR・購入できるテレビショッピングはできるでしょうか？

（事業者）

- ・ テレビショッピング番組は、広告番組の位置づけではありますが、物産品に特化した番組という視点は、当チャンネルではそれほどたくさん放送していないと思います。広告企画番組の一案として、広告担当に共有して、実現可能か検討してまいります。また、各委員から頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の番組制作に活かしていく所存です。

以上